

28年4月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は44社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	△ 7.1	△ 14.3	△ 10.3
	外材	△ 15.9	△ 18.3	△ 8.8
販売動向	国産材	△ 8.6	△ 7.1	△ 7.4
	外材	△ 12.2	△ 8.5	△ 8.8
在庫動向	国産材	△ 4.4	△ 7.6	△ 10.9
	外材	△ 7.3	△ 14.6	△ 5.0

・製材品の仕入、販売及び在庫は、国産材、外材共3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	△ 6.3	△ 4.2	△ 6.5
スギ正角(KD)	△ 7.7	△ 3.8	△ 6.0
ヒノキ正角	△ 7.7	△ 1.9	△ 3.8
ヒノキ土台角	△ 5.8	0.0	△ 1.9
米ツガ正角(現地挽)	△ 2.1	△ 2.1	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	△ 1.9	△ 3.8
米ツガ割物(現地挽)	0.0	△ 2.2	△ 2.2
米マツ平角	△ 16.0	0.0	2.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	1.8	3.6	3.7
ホワイトウッド集成管柱	14.8	3.7	3.8
レッドウッド集成平角	△ 5.8	1.9	0.0
型枠合板(輸入)	△ 29.2	△ 2.1	△ 2.2
針葉樹構造用合板	0.0	4.3	2.4
針葉樹構造用合板(厚物)	11.9	7.1	2.6

・スギ(グリーン、KD)及びヒノキの製品価格は、やや弱含みで推移。

・米ツガの製品価格は、保合ないしやや弱保合で推移。

・米マツ平角は4月の弱含みが、5月、6月は保合に。
・北洋アカマツタルキは総じて強保合。

・WW集成管柱は4月のやや強保合から保合へ、RW集成平角は総じて保合。

・型枠用合板(輸入)は4月の弱含みからやや弱含みへ。針葉樹構造用合板は保合ないしやや強保合。